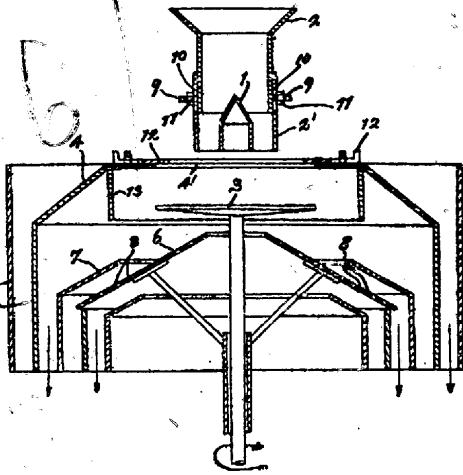


特 許 抄 録

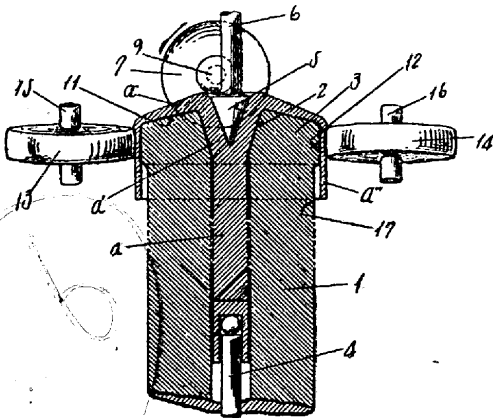
石炭又は其他の鑛石の乾式選別装置 (1) 第 5813 號 [昭 17-12-5] (2) 昭 17-7-4, (3) 安弘文吉, (4) 滿洲炭鑛株式會社 本發明



は圖に示す如く上部に適當の開口面を有する覆篋内に、平面淘汰盤及圓錐淘汰盤を同心的に且各別に回轉し得る如く設け、其上部に設けたる供給漏斗は二重筒に構成せられ其出口端を適宜伸縮して淘汰盤との距離を變へ

得べくし、且出口端の中央には、原鑛の集中の落下を防ぐ適當の分配装置を設け、覆篋の内外に任意數の隔壁にて仕切りたる乾式選別装置に係る。

金屬管製造法の改良 (1) 第 5828 號 [昭 17-12-5] (2) 昭 17-6-11, (3) (4) 榊田小太郎 本發明は圖に示す如く、棒狀原料を其



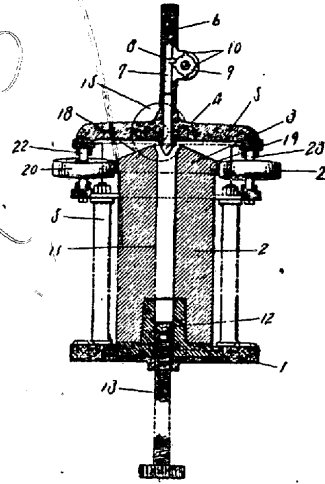
の一端より順次漏斗狀に鑿開する工程と該工程の進行に應じて、前記鑿開部を順次傘狀に轉壓し展延すると共に、放射方向に牽引する工程と、更に該轉壓部を棒狀原料の移動

する方向と反對の方向に牽引すると共に、順次所要厚の金屬管に轉壓整形する工程との結合よりなる金屬管の製造方法に係る。

金屬マンガン電解液製造法 (1) 第 5837 號 [昭 17-12-5] (2) 昭 15-11-25, (3) 天野保司外四名, (4) 松下電器産業株式會社 本發明は天然炭酸マンガン鑛に、硫酸と共に亞硫酸アムモニアを添加し溶解せしめて、硫酸マンガン及硫酸アムモニウムの混合液となすことを特徴とする、金屬マンガン電解液の製造法に係る。

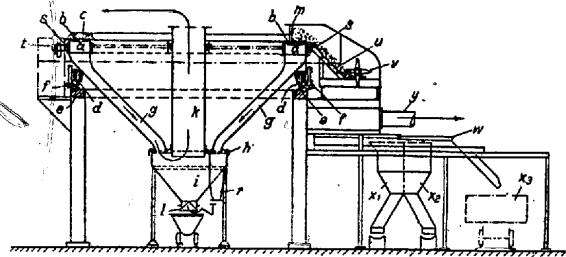
硫酸ニツケルの精製法 (1) 第 5838 號 [昭 17-12-5] (2) 昭 16-9-1, (3) 唐島讓外一名, (4) 三菱鑛業株式會社 本發明は第一次加熱工程終結時に於て、100 瓦中遊離硫酸 40~70 瓦を含むが如き硫酸ニツケル溶液を、第一次加熱工程に於て激しく攪拌しつつ、125~135°C に加熱して不純物を析出せしめ、之を分別せる後、第二次加熱工程に於て、150~155°C に加熱して硫酸ニツケルを析出せしむる。硫酸ニツケルの精製方法に係る。

金屬管製造装置 (1) 第 5829 號 [昭 17-12-5] (2) 昭 17-6-11



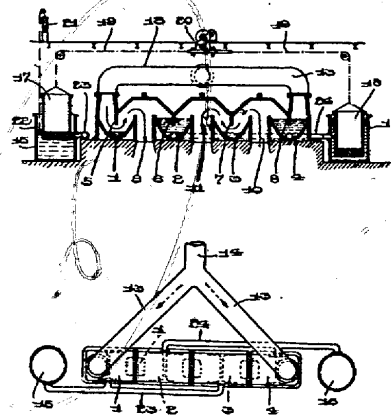
(3) (4) 榊田小太郎 本發明は圖に示す如く、原料支管の一端に形成せしめたる白型に嵌入し且中心線方向に高速度に衝撃を與へらるる圓錐杵を具へ、前記白型の上部に前記圓錐杵の中心線と一定の間隔を保持する軸線を有する圓錐形轉子を具へ、且白型の外周面に沿ひ、圓錐杵の中心線と並行なる平面に於て、稍々傾斜する軸線を有する。獨樂形轉子を具ふる事を特徴とする。金屬管製造装置に係る。

半融装置 (1) 第 5847 號 [昭 17-12-5] (2) 昭 15-10-15, (3) クルト, ルードルフ, ゲーレ, (4) メタルゲゼルシャフト, アクチエンゲゼルシャフト 本發明は圖に示す如く、斜下方に導かるる導



管を有する空氣室が、殊に適當なるは收塵機として構成せられたる調節頭部と結合せられたることを特徴とする。環狀衝風火格子に係る。

氣體通路變更装置 (1) 第 5848 號 [昭 17-12-5] (2) 昭 16-3-

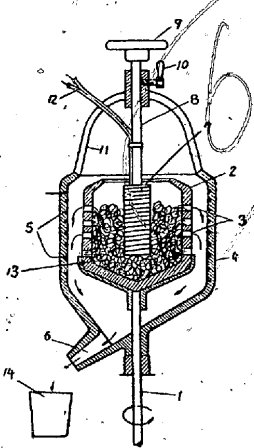


7, (3) (4) 植木幹男, 本發明は圖に來す如く下方に一定距離の間隙を存せしめたる區劃縦壁を中央に具へたる水室四個を一組とし各水室の境界部に通路を設け且つ兩端水室は供給路に連ね尙一つ置即ち交互位置に於て水室に通すべき一對のタンクに重量を互に平衡せしめたるウェートを昇降自在に備へたる事を特徴とする氣體通路變更装置に係る。

少量の炭素を含有する鐵合金の製造方法 (1) 第 5849 號 [昭 17-12-5] (2) 昭 15-10-3, (3) ルネペラン, (4) ソシエテ, デレクトロシミー, デレクトロメタルユジイ, エ, デ, ザシエリ, エレクトリック, デユジイヌ, 本發明は多量の還元劑と少量の炭素とを合

む一次合金を製造する工程と該一次合金と其の中の還元剤により還元し得る合金元素の酸化物を含有し半は使用し盡したる中間鑛滓とを激しく混和し前記一次合金よりも少量の還元剤と少量の炭素とを含有する中間合金を製造する工程と前記合金元素の酸化物を多量に含有する新たな一次鑛滓と該中間合金とを反應せしめ該中間合金中の還元剤の含有量を所望の最終量迄低減せしむる工程との結合を特徴とし少くとも一工程に於て鐵を添加する低炭素鐵合金の製造方法に係る。

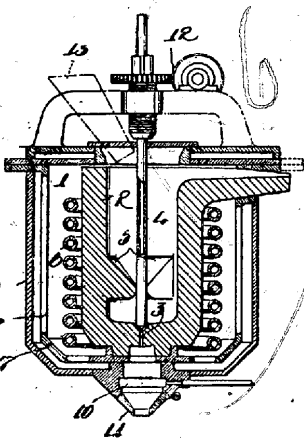
合金の遠心力分別装置 (1) 第 5850 號 [昭 17-12-5] (2) 昭 16-3-14, (3) 大日方一司, (4) 金屬材料研究所



本發明は圖に示す如く耐熱物質よりなり側壁に多數の小孔を穿設せる容器即ち加熱熔融爐の用をなす遠心力容器と該容器を回轉する装置と該容器を包圍し底部に流出口を有する外匣と前記容器内の原料を加熱する電熱體其の他の加熱装置とより成り前記容器内に目的の合金を裝填し之を該合金の熔融温度以下凝固温度以上の温度に加熱しつつ該容器を高回轉するにより熔融成分を分別除去する如く構成せる合金の遠

心力分別装置に係る。

盛金就中工具類の盛金方法 (1) 第 5851 號 [昭 17-12-5] (2) 昭 16-1-15, (3) (4) 辛島並樹

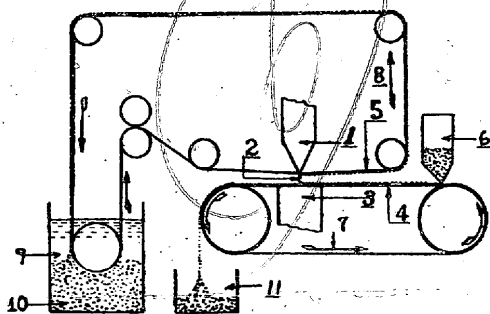


外一名 本發明は圖面に示す如く電氣爐により高速度鋼又は硬質工具用合金等の如き金屬體を熔融せしめ該熔融金屬體を爐體の流出口より周面を不活性瓦斯にて包圍せる状態に於て可調節的に流出せしめ得べくし他方盛金すべき工具類を適當温度に豫熱しおき其の被盛金部位に前記熔融金屬體を流下し爐體又は工具類を移動し又は移動せしめずして適當厚さの盛金を行ふこ

とを特徴とする盛金就中工具類の盛金方法に係る。

磁力選鑛法 (1) 第 5898 號 [昭 17-12-5] (2) 昭 16-10-31,

(3) (4) 伊藤忠雄 本發明は圖に示す如く下部に平滑なる磁極を置き上部に或る間隔を距てて磁性の相反する刃状の磁極を相對峙せしめて兩者間に尖鋭なる磁界を構成し給鑛無端ベルトは下部磁極面に常に接觸を保ちて廻轉すべく設けられ捕集無端ベルトは上部極の下部に接し且つ裏面は水式は濕潤液を介して精鑛を保接しつつ之を精鑛貯藏槽に運搬せしむ



べく設けられ捕集無端ベルトは上部極の下部に接し且つ裏面は水式は濕潤液を介して精鑛を保接しつつ之を精鑛貯藏槽に運搬せしむ

べくし兩者の回動面は互に平行となるべく裝備せられ以て給鑛無端ベルト上に展布せられたる原鑛中の磁性鑛を連續的に選鑛する磁力選鑛機に係る。

接觸的還元依る還元鐵製造法 (1) 第 5955 號 [昭 17-12-10]

(2) 昭 16-1-31, (3) (4) 林喜一郎外一名 本發明は鐵鑛を還元性物質にて還元し還元鐵を製造する際に適當量の硝酸アルカリ, 亞硝酸アルカリを加へて其の觸媒の酸化性, 低温熔融擴散性により鐵鑛を迅速且つ容易に還元する還元鐵製造法に係る。

金屬又は合金の合せ棒又は合せ管製造法 (1) 第 5956 號 [昭 17-12-10, (2) 昭 16-1-14, (3) 小磯五郎外一名 (4) 住友金屬工業株式會社

本發明は有底圓筒状に削るか或は鑄造したる外材内に内材を嵌合するか或は鑄込み又は圓柱状に削り或ひは鑄造されたる内材の側面及一底面を覆ふ如く外材を鑄造するか或は嵌合したるピレットを間接押出法により押出すことを特徴とする合せ棒又は合せ管の製造法に係る。

鑄鐵製鐵道客貨車用軸承 (1) 第 5957 號 [昭 17-12-10] (2) 昭 14-9-27, (3) 徳永晋作外一名, (4) 鐵道大臣

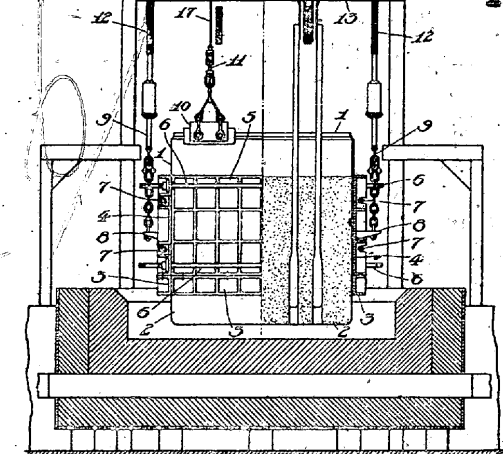
本發明は鑄鐵製軸承主體の軸承面に多數の尖頭状突起又は突條の群を設け其の表面に熔射法により銅鉛合金又はホワイトメタルの如き軟質金屬の 0.5~1.0mm の薄層を被着せることを特徴とする鑄鐵製鐵道客貨車用軸承に係る。

炭素電極製造法 (1) 第 5999 號 [昭 17-12-10] (2) 昭 15-11-6, (3) (4) 千葉宏

本發明は粉末炭素に適量の粒状カゼインを混合し之に該カゼインの一部を残存する如くアルカリ溶液を作用せしめて之を壓搾型に依り成形し焼成したる炭素電極製造法に係る。

自燒連續電極支持装置 (1) 第 6000 號 [昭 17-12-10] (2) 昭 16-6-2, (3) 吉田善重, (4) 東洋金屬株式會社

本發明は圖に示す如く電極が其下部より逐次に焼成消費せらるるに従ひ糊状電極原料の補給並に被覆用金屬板の繼足しに依り漸次上部に後續電極本體を連續構成せしむ



る様式の自燒連續電極に對し其の下端附近の周圍を回繞して緊緩自在の酸化防止兼保持枠を設け且つ該保持枠及被覆金屬板を夫々主懸吊装置及補助懸吊装置に依り各別に吊持して成る自燒連續電極支持装置に係る。

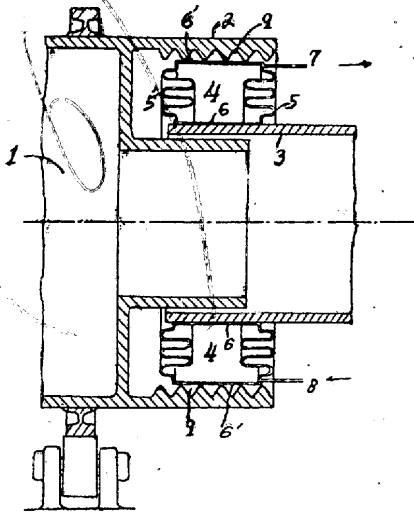
緩より銅、ニッケル、コバルトの回收方法 (1) 第 6041 號 [昭 17-12-15] (2) 昭 13-8-10, (3) 唐島讓外一名, (4) 三菱鑛業株式會社

本發明は非鐵金屬の乾式製煉に際し生ずる鏝中に存在する Fe₂O₄ を FeO の形態に還元し且つ鏝中に酸化状態にて存在する Cu, Ni, Co の全部又は一部及 FeO の一部を金屬状態に還元し最後に得たる鏝類似物質中の S の量を Cu, Ni, Co, Fe の合計量の

3分の1以下たらしめ且つ該物質中の全 Fe 分を Cu, Ni, Co, の合計の 2~15 倍の範囲内にあらしむる如き量の炭素質還元剤を加へ加熱する事により鍍中に存在する前記非鐵金屬の酸化物を FeO の一部と共に單體に還元すると共に分散せる鉄の微粒子と合體せしめて熔融鍍よりの分離を容易ならしめる事の特徴とする鍍よりの Cu, Ni, Co の回收方法に係る。

回轉管爐に於ける接合装置 (1) 第 6040 號 [昭 17-12-15] (5)

昭 15-12-30, (3) (4) 北澤四郎 本發明は圖に示す如く回轉管爐の爐端と固定管との接続部に於て相對向せる兩面を波狀に形成して可撓弾力性を附與せられたる環狀の空盒の基底環を前記回轉管爐に固着し上蓋環を前記固定管の端部に氣密に接觸せしめ且該環狀空盒の内部に流體を加壓状態に於て又は加壓する事なく通し得る如くなし



たる回轉管爐に於ける接合装置に係る。

高純度のアルミニウム製造法 (1) 第 6042 號 [昭 17-12-15] (2) 昭 16-2-26, (3) 宮田等, (4) 日滿アルミニウム株式会社 本發明は鐵又はチタニウム的一種又は二種を含有し又は含有せざるアルミニウム珪素合金に於て珪素量を 35% 以上となし上記合金を 1300°C 以下に於て加熱しアルミニウムを氣化蒸發せしめ後凝縮する高純度アルミニウム製造法に係る。

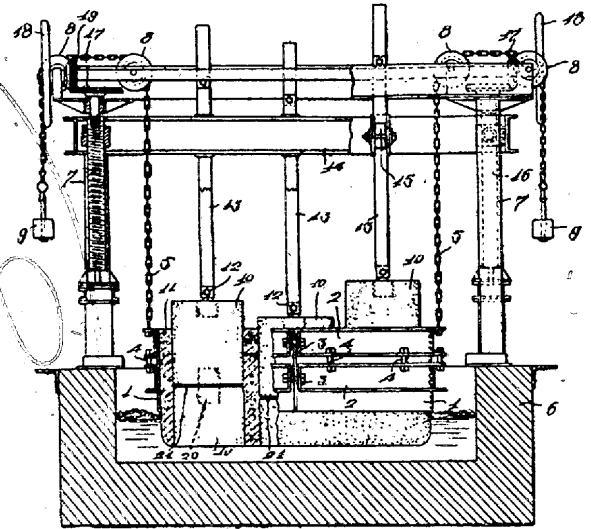
アルミニウム接着用合金 (1) 第 6043 號 [昭 17-12-15] (2) 昭 16-3-19, (3) 森永卓一外一名, (4) 滿洲輕金屬製造株式会社 本發明は Al 2~10, Bi 5~20, Cd 10~30, Pb 5~10. 殘部 Zn より成る Al 接着用合金に係る。

金屬光輝熱處理用瓦斯の製造方法 (1) 第 6044 號 [昭 17-12-15] (2) 昭 14-10-26, (3) 呂璞石外一名, (4) 高砂鐵工株式会社 本發明はアンモニアと空氣率 1 以上の空氣との混合瓦斯を燃焼後水分を除去したるもの若くは之と同様の組成を有する瓦斯を高温の炭素質物又は炭素質物と反應促進劑との中を通過せしむる事の特徴とする金屬光輝熱處理用瓦斯の製造方法に係る。

光輝燒鈍用氣體の製法 (1) 第 6045 號 [昭 17-12-15] (2) 昭 14-10-26, (3) 呂璞石外一名, (4) 高砂鐵工株式会社 本發明はアンモニアと空氣率 1 以上の空氣との混合との混合瓦斯を燃焼後水分を除去したるもの若くは之れと同様の組成を有する瓦斯を高温に加熱せる鑄鐵削片及反應促進劑の混合物を通過せしむることを特徴とする光輝燒鈍用氣體の製法に係る。

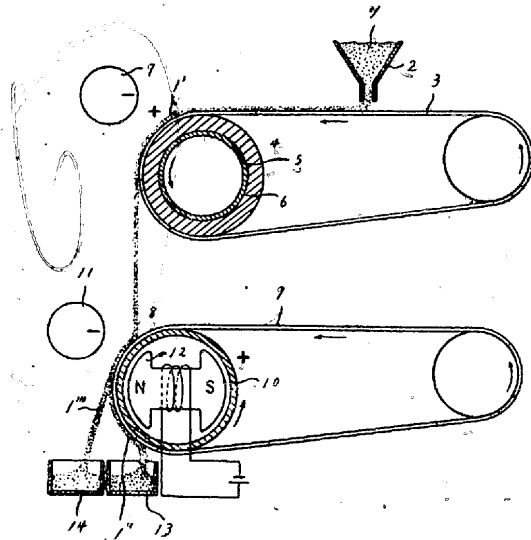
電氣爐用連續供給炭素電極 (1) 第 6096 號 [昭 17-12-15] (2) 昭 16-6-20, (3) (4) 藤森龍壽外一名, 本發明は圖に示す如く昇降自在に吊垂したる金屬外套内に任意形狀の既燒成單位電極を複數筒不揃狀態に喰違はしめて裝入し各電極相互間及電極と外套との間に生ずる間隙に爐熱により燒成せられたる電極組成炭素質の充填原料を粘結劑と共に充填し各電極には導電用金屬杆を着脱自在に取付けて之を昇降自在の支持梁に依り吊垂支持せしめ該導電杆に依

り給電し電氣爐の爐熱に依りて電極と充填原料とを一團に固結し電極の消耗に應じて外套を移動せしめ且電極の上端にニツプルに依り



て他の既燒成單位電極を接續し充填原料を補給して常に既燒成電極より給電する電氣爐用連續供給炭素電極に係る。

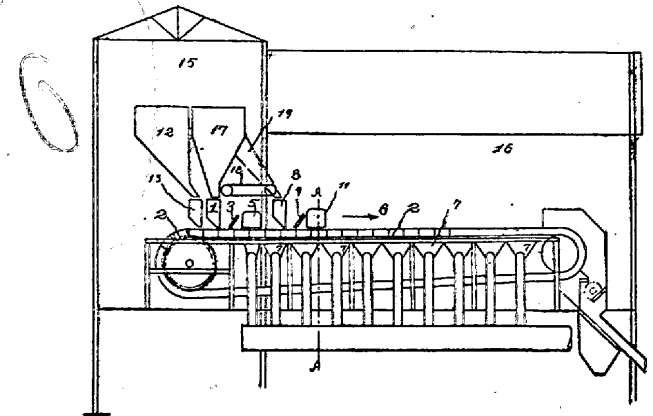
磁場及靜電場を併用する選鑄装置 (1) 第 6097 號 [昭 17-12-15] (2) 昭 16-12-28, (3) (4) 鳥山四男 本發明は圖に示す如



く豫め一定符號の荷電を與へたる鑄石粉末をば之と同一符號に充電せられ居る磁性材料製回轉面上に送給し且つ該回轉面には磁場を存せしめ以て鑄石粉末中の非磁性粉末は回轉面より靜電力によりて反

撥せられ磁性粉末は磁力に依り回轉面に附着して移動し磁力弱き部位に到りたる時回轉面より落下すべくせる選鑄装置に係る。

粉鑄石連續式燒結法の改良 (1) 第 6155 號 [昭 17-12-21] (2) 昭 16-2-10, (3) (4) 上田司郎 本發明は例へば圖に示す如き



装置により粉鑛石に點火し之を無端式に移行せしむる間に燒結を行ふ所の粉鑛石燒結法に於て粉鑛を二層又は二層以上の段狀に供給し其各層毎に點火燒結を行はしむる事により在來の燒結法に比し燒結時間を著大に短縮すべくす粉鑛石連續式燒結法の改良に係る。

鐵チタン第一鐵原料の處理方法 (1) 第 6154 號 [昭 17-12-21] (2) 昭 16-3-3 (3) 諾マンドレアス, ヨハン, ラフネスダト (4) チタン, コンパニー, アクチエセルスカブ 本發明は鐵化合物の金屬狀態への還元と金屬鐵の酸化と酸化鐵のチタン濃縮物よりの分離とよりなる鐵チタン第一鐵原料の處理方法に係る,

圓筒爐中にて鐵鑛石を還元する事により鐵或は鐵合金を製造する方法 (1) 第-6156 號 昭 17-12-21 (2) 昭 16-7-8, (3) フリッツ, オイレンスタイン, (4) ザ, ハトレーベン, アクチエンゲゼルシャフト, フェールベルグバウウント, ヘーミツシユ, インヅストリー 本發明は還元爐の廢瓦斯が鑛石或は鑛石と他の裝入成分との混合物の豫熱に或は還元爐に要する燃燒空氣の豫熱に或ひは兩方に又は類似の目的に役立つ前に其の熱の一部を難熔融性物質例へば石灰石, ドロマイト, マグネサイト, 燃燒せらるべきセメント原料物質或はシャモット原料物質の如き耐火性原料物質或は半融せらるべき酸化亜鉛等に與ふる事を特徴とする還元爐の廢瓦斯にて加熱せらるる特殊の装置中にて鐵石を豫熱しつつ裝入物が直接に燃燒瓦斯にて金屬或は合金を熔融する迄加熱せらるる圓筒爐中にて鐵鑛石等を還元する事により鐵或は鐵合金或ひは類似の難熔融性金屬を製造する法に係る。

純白金を得る方法 (1) 第 6157 號 [昭 17-12-21] (2) 昭 14-9-2, (3) (4) 後藤良亮 本發明は不純鹽化白金酸化又は市販の白金鹽化物を濃鹽酸にて處理して得たる鹽化白金酸含有物に約 300°C に加熱せる炭酸瓦斯を通じ鹽化白金酸を得 300°C に加熱し次に約 250°C の CO 瓦斯を通じ白金鹽化カーボニルを生成せしめ次に之を 300~600°C に加熱せる白金線條を吊下せる真空中に於て常に排氣しつつ蒸氣分解せしめ白金のみを白金線條に附着せしむることを特徴とする純白金を得る方法に係る。

鋳用輕合金 (1) 第 6158 號 [昭 17-12-21] (2) 昭 15-4-1, (3) 中田兵次, (4) 住友金屬工業株式會社 本發明は Cu 1.75~2.25, Mg 1.5~2.5, Mn 0.5~1.5, 殘部 Al よりなり燒入後長時間に亘り時効硬化現象を生ぜざる事を特徴とする鋳用輕合金に係る,

電氣接點材料 (1) 第 6159 號 [昭 17-12-21] (2) 昭 16-2-8, (3) 棟業久吉外一名, (4) 東北金屬工業株式會社 本發明はタングステン粉末と銅又は銀を主體とする電氣接點用金屬材料に 0.1~6.0% の鐵屬金屬を添加することを特徴とする接點金屬に係る。

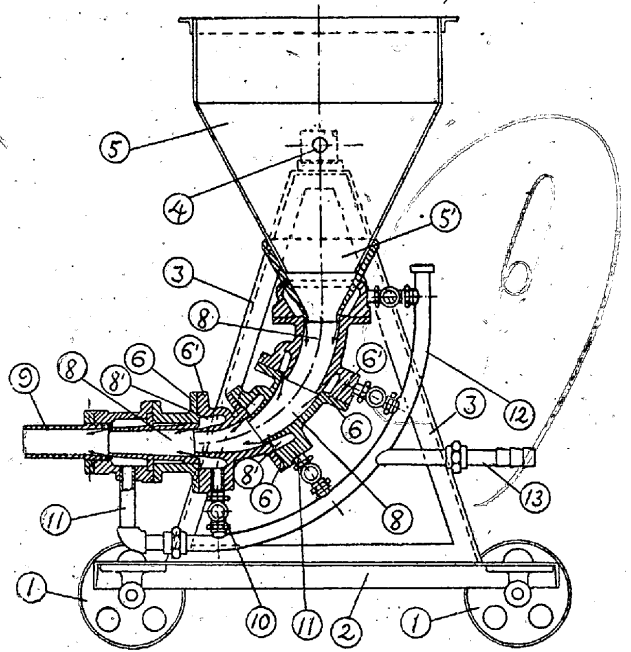
熔接方法の改良 (1) 第 6160 號 [昭 17-12-21] (2) 昭 16-2-10, (3) 中村素外一名, (4) 石川島芝浦タービン株式會社外一名 本發明は被熔接母體の熔接溝の周邊に保護被を當てて熔接を施し該保護被間に餘盛り熔接をなし必要に之を削り去る事を特徴とする熔接方法に係る。

アルミニウム上に電氣鍍金をなす場合鍍金層を地金に緊着せしめるための表面處理法 (1) 第 6161 號 [昭 17-12-21] (2) 昭 16-8-18, (3) 土田幾久, (4) 川崎重工業株式會社 本發明はアルミニウムに電氣鍍金を施すに當り磷酸鹽化第二鐵溶液より成る混和液にて豫めアルミニウム表面を處理して表面に均一なる凹凸を生ぜしむることを特徴とする表面處理法に係る。

アルミニウム輕合金種別判定用試驗液 (1) 第 6233 號 [昭 17-12-26] (2) 昭 16-5-6, (3) 吉永利治外一名, (4) 川西航空機株式

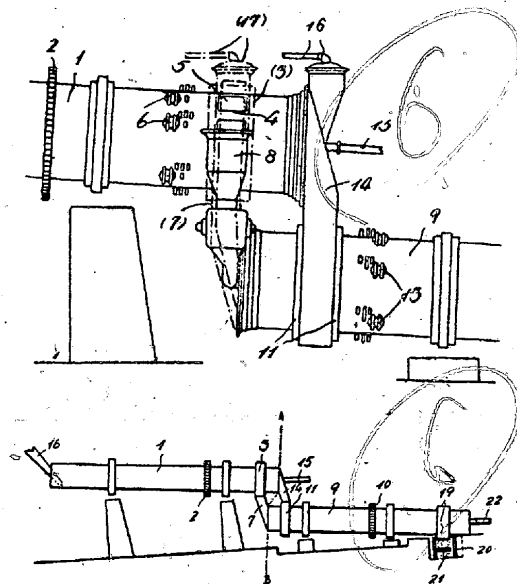
會社 本發明は苛性アルカリ溶液に色素を配合せるアルミニウム輕合金の種別を判定する液に係るもので該液を使用し研磨面に之を塗布する時は合金の種類により特有の色を呈する故容易に判別出來得るものである。

製鋼爐の爐底材料投付器 (1) 第 6240 號 [昭 17-12-26] (2) 昭 16-8-13, (3) (4) 山田貞雄外一名 本發明は圖に示す如く適宜車輪を裝備したる臺上に直立する兩側柱の上部内側に突出する水平支柱に兩側中心を懸吊せしむべくしたる漏斗の下底より兩端を接手用鏢となしたる断面圓錐狀管の小徑なる尖端の管壁先を適宜尖銳ならしめて稍々鏢外に突出せしめ其の外周と鏢との間に適宜大の圓輪狀空氣溜室を設けたる適宜曲又は直狀の接手型管を順次數個相接



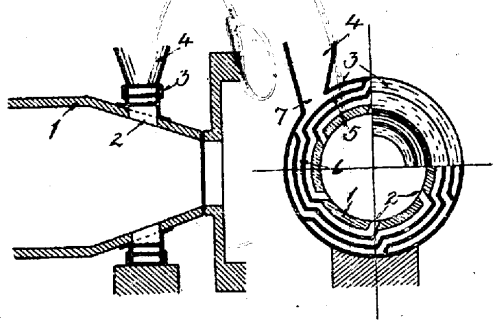
續して垂直方向より水平方向に誘導し其の先に適宜のノズルを挿入し紋上各管の空氣溜室には適宜コックを経て相通すべき分岐管を以て一本の型排空氣管に相連結すべくしたる製鋼爐の爐底材料投付器に係る。

鐵鋼精煉用迴轉爐 (1) 第 6241 號 [昭 17-12-26] (2) 昭 16-8-27 (3) (4) 野口丈夫 本發明は圖に示す如く筒型迴轉爐を中央部に於て前後に二分し前部迴轉爐の末端の稍下方に後部迴轉爐の先端を在らしめて夫々別箇に迴轉自在ならしむると共に前部迴轉爐の先端の稍々後方に於て爐側面に對設せる環狀室に通ぜしめ該環狀室に對する爐側面に數多の透窓を穿設し各透窓には



夫々爐の廻轉位置に應じて開閉すべき開閉扉を裝着し又後部廻轉爐の先端部に對せしめたる被製煉物落下筒を前部廻轉爐の末端の稍々前方に於て爐側面に對設せる環狀室に通ぜしめ該環狀室に對する爐側面に數多の透窓を穿設し各透窓には夫々爐の廻轉位置に應じて開閉すべき開閉扉を裝着し尙通氣筒の一部に燃燒瓦斯補給管を又被製煉物落下筒の一部に還元劑補給管を夫々開口せしめたる鑛鑛製煉用廻轉爐に係る。

管狀回轉爐に於ける簡易裝入装置 (1) 第 6242 號 [昭 17-12-26] (2) 昭 16-8-28, (3) 中島統一, (4) 日本特殊鋼管株式會社



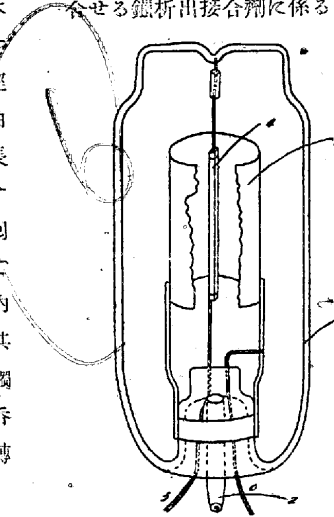
本發明は圖に示す如く順次に小徑に渦紋狀に彎曲せしめたる細長なる脚部を有する中繼漏斗を回轉爐に定着して其の脚部を爐内に開口せしめ其

の呑口端を供給口を有する固定の環狀蓋體の内面に摺動自在に接觸せしめ爐の回轉中呑口端を斷續的に開閉せしめ脚部内の裝入物を呑口端の密閉期間中に於て爐内に裝入せしむる如くなしたる管狀回轉爐に於ける簡易裝入装置に係る。

發火合金製造法 (1) 第 6243 號 [昭 17-12-26] (2) 昭 16-5-26, (3) (4) 上林慶喜 本發明は酸化セリウム、酸化鐵及カルシウムハイドライドを粉末として直接接觸する如く混在せしむる工程と之を眞空中にて加熱してセリウム及鐵を還元せしむる工程とこの還元物中に混在する酸化カルシウムを分離除去する工程と還元物を所要の型に壓縮成型し更に眞空中にて加熱しフエロセリウムを形成せしむる工程との結合を特徴とする發火合金の製造法に係る。

亞鉛を含む強力アルミニウム合金合せ板 (1) 第 6244 號 [昭 17-12-26] (2) 昭 14-10-14, (3) 小兒清一, (4) 住友金屬工業株式會社 本發明は Zn を含むアルミニウム合金を Zn 0.5~1.5, Mn 0~2.0, 殘部アルミニウムよりなるアルミニウム合金を以て被覆せる強力アルミニウム合金合せ板に係る。

鑛析出接合劑 (1) 第 6245 號 [昭 17-12-26] (2) [昭 5-12-24] (3) 橋本誠一外一名, (4) 住友電氣工業株式會社 本發明は鹽化亞鉛 84~94 に食鹽及鹽化加里を夫々 3~8% 宛等量の割合を以て配合せる鑛析出接合劑に係る。



粉末冶金法の改良 (1) 第 6246 號 [昭 17-12-26] (2) 昭 16-2-22,

(3) 西尾秀彦, (4) 日本電氣株式會社 本發明は圖に示す如き装置を使用し眞空容器中にて燒給せんとする金屬の壓搾體を圍みたる電子放射體よりの放射電子を壓搾體に衝突せしめて生じたる熱により加熱する粉末冶金法に係る。

低周波電流による鑛石還元法 (1) 第 6296 號 [昭 17-12-26] (2) 昭 16-2-22, (3) 岡部岩太郎外三名, (4) 豊田製鋼株式會社 本發明は適當の電氣爐に被處理粉鑛に還元劑を

混合したるものを裝入し電極先端間に還元せんとする金屬と等しき金屬線を接續して設け之に通電して前記粉鑛を熔融還元せしむるに當り特に起動時より低周波低電壓を以てすること及斯る使用電流の通電により直ちに熔融するが如きことなき程度の太きの金屬線を用ふることを特徴とする低周波電流による鑛石還元法に係る。